

# ポートランド市歩行者マスタープランについて

講師：Ms. Ellen Vanderslice 日時：2002年12月4日(水)午後6時30分～

場所：IBS 第2会議室

## 1. はじめに

元オレゴン州ポートランド市職員（歩行者交通計画担当）で、現在 AmericaWALKs (NGO) 代表の Ms. Ellen Vanderslice 氏をお迎えし、ポートランド市の歩行者マスタープラン（98年策定）と、個別計画に関してご講演いただきました。



Vanderslice 氏

## 2. ポートランド市歩行者マスタープラン

PI (Public Involvement: パブリックインボルブメント) の観点を中心に、ポートランド市の政策動向や、計画プロセス（ニーズの特定、オープンハウス、プロジェクト開発、プロジェクト優先順位付け、計画案確定のワークショップ）、市議会での採択まで、歩行者マスタープラン策定の経緯と概要をご説明されました。

### 【PI プロセスの特徴】

- ・マスタープラン策定までに市民意見が十分反映されるシステム（州法に基づく）
- ・計画策定に十分な時間（図-1）
- ・意見はデータベースに記録し GIS に連動
- ・ゲーム形式の意見収集方法
- ・800以上の改善案を複数のプロジェクトに集約（歩行者地区、コリドー、横断等）(図-2)
- ・歩行者潜在性指数 (Potential Index) と欠陥性指数 (Deficiency Index) を用いプロジェクトのプ

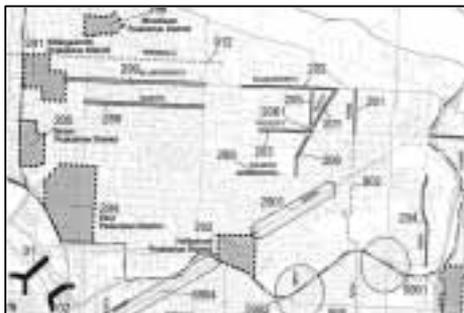


図-2 プロジェクトマップ

- ライオリティーをランク付け
- ・指数等の定量指標を根拠とすることで大きな声や政治的圧力に対抗
- ・プロジェクトの実施は市民の負担につながるため、資金計画にも市民の意見を反映
- ・Impact fee (デイベロッパーによるプロジェクト基金の拠出) の導入に関する PI

## 3. ラッセルストリート改善計画プロジェクト

Vanderslice氏が現在関わっている個別計画（2002年6月～2003年3月）、市民による現地調査から、詳細デザイン設定、優先順位付けワークショップ、オープンハウス、コミュニティ諮問委員会までの参加型プロセスについてご説明されました（図-3）。

### 【PI プロセスの特徴】

- ・短期間（1年）の協働型計画プロセス
- ・現地調査やワークショップにファシリテーターが参加
- ・ニーズを基礎に置く協議方法

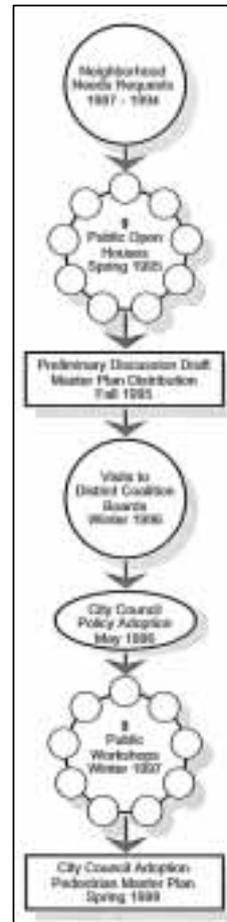


図-1 歩行者マスタープラン策定プロセス



図-3 Preferred Concept Plan

(都市政策研究室 田上貴士)